

平成29年度 東京都水防協議会

# 東京都の河川事業について

# 東京の河川事業【地域特性と対策】



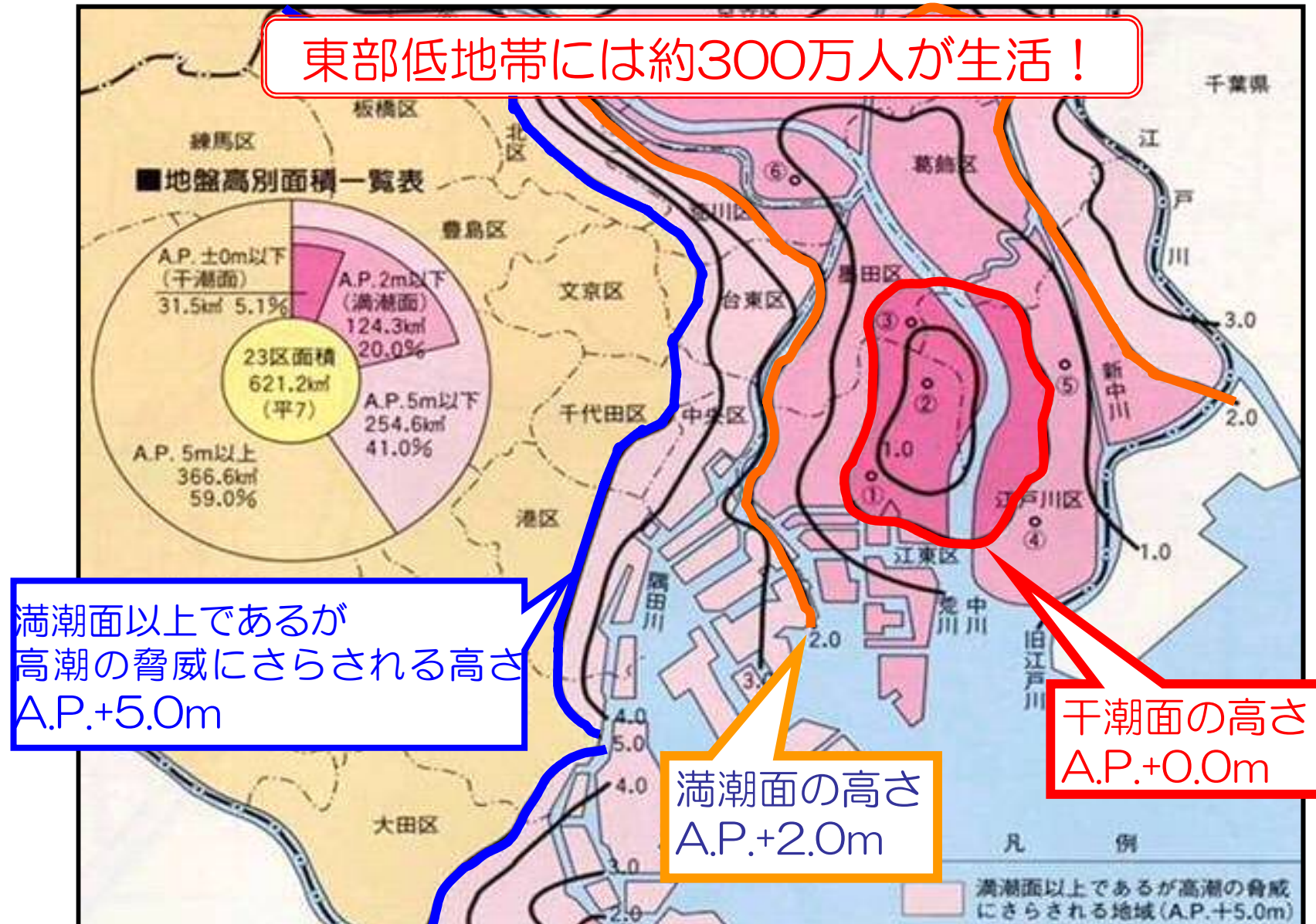
土砂災害対策

中小河川の洪水対策

低地河川の  
高潮・地震対策

親水空間整備による都市の魅力向上

# 低地河川の高潮・地震対策【東部低地帯の地盤高】



堤防が破損すると、甚大な水害が発生する恐れ



# 低地河川の高潮・地震対策【スーパー堤防の整備など】

スーパー堤防等の整備



旧江戸川

親水空間の整備



小名木川 「塩の道」

防災船着場の整備



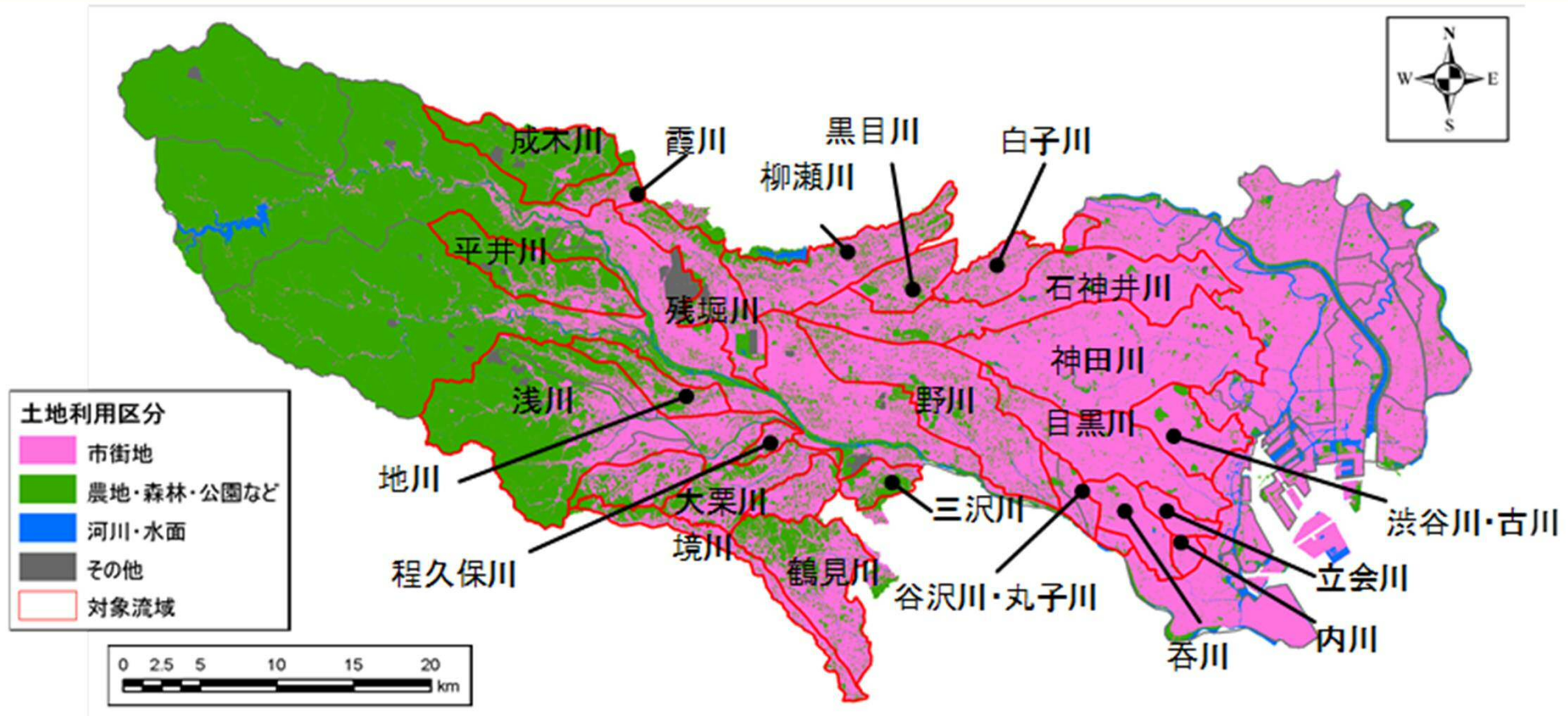
明石町防災船着場

にぎわいづくり



隅田川「かわてらす」(清澄)

# 中小河川の洪水対策【東京の河川の特徴】



野川(糟嶺橋付近)



古川(三田・麻布十番付近)



# 中小河川における過去の水害事例



H17.9.4 の氾濫状況（妙正寺川）



H17.9.4 の被害状況（妙正寺川）

# 中小河川の洪水対策

## 河道整備



白子川（改修前）



白子川（改修後）

## 調節池整備



環七地下調節池





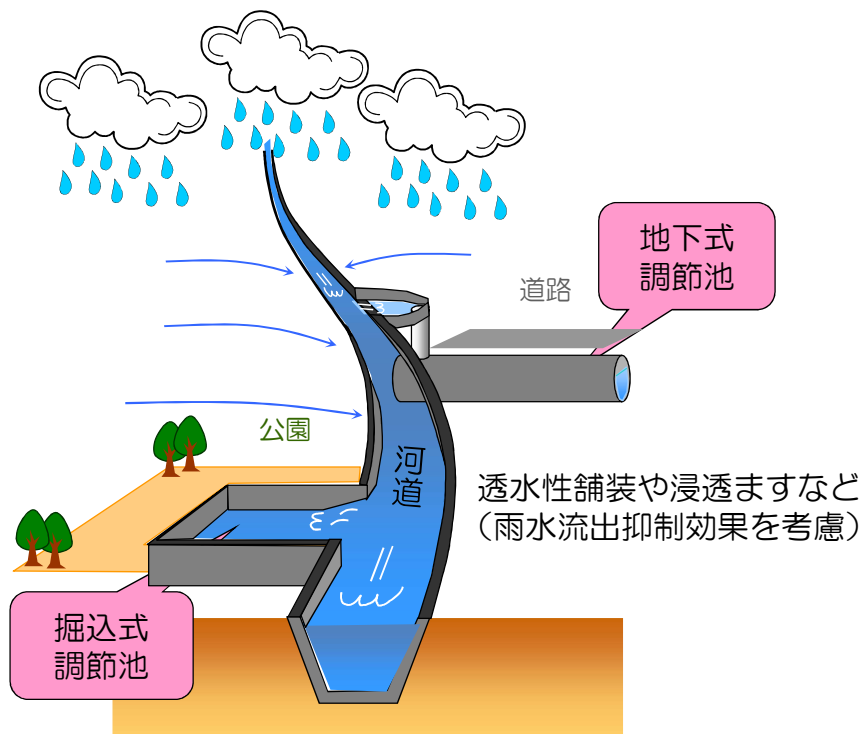
# 中小河川の洪水対策【整備方針】

## ◆平成24年11月に「中小河川における都の整備方針」を策定

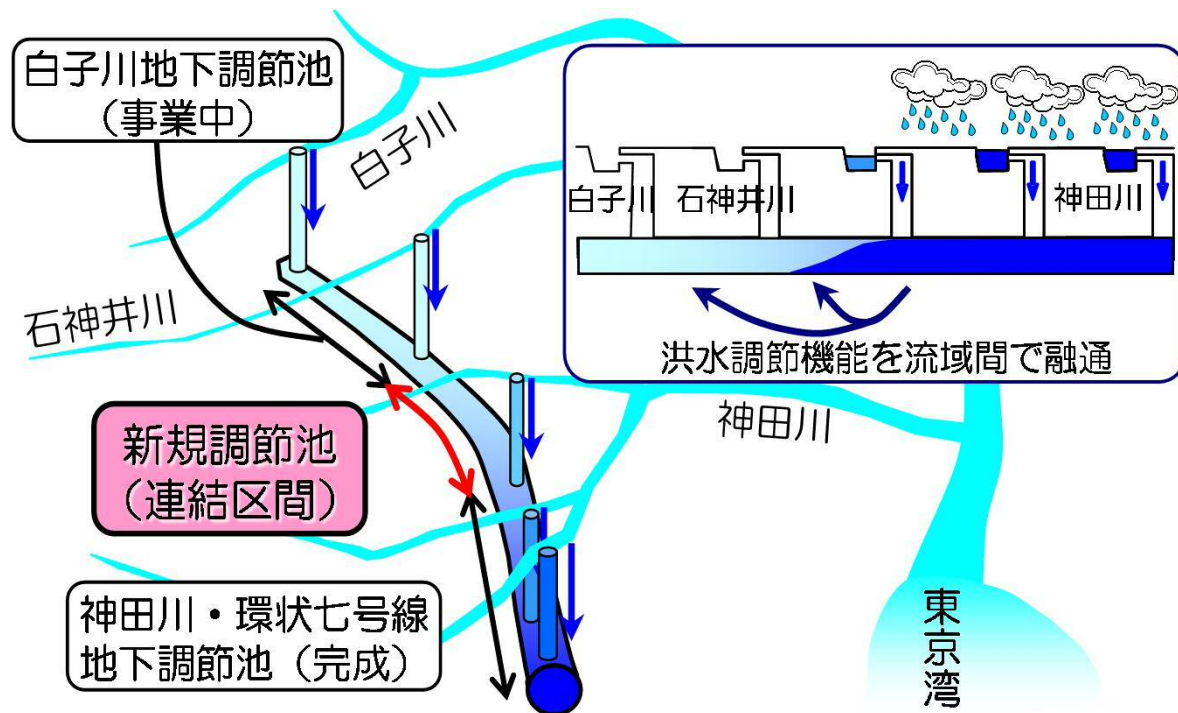
現在の時間50ミリ降雨への対応から、区部河川では時間75ミリ、多摩部河川では時間65ミリ降雨に目標整備水準を引き上げ、河川からの溢水を防止する。

### 【整備の考え方】

○ 道路下や公園等の公共空間を活用し効率的に整備

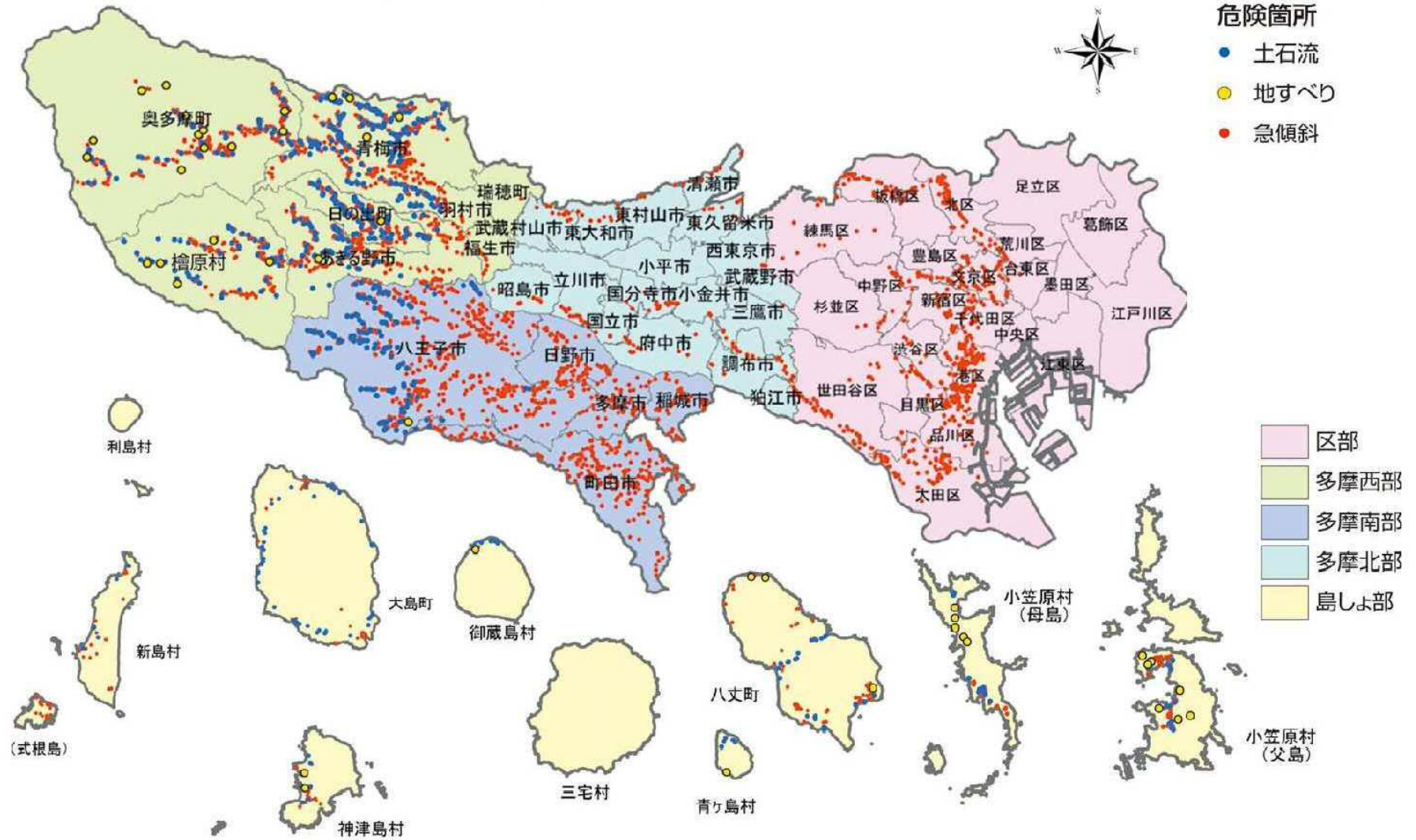


○ 広域調節池による調節池機能の流域間相互融通で局地的集中豪雨に対し、高い効果を発揮



# 土砂災害対策【都内の土砂災害危険箇所の分布状況】

## 東京の土砂災害危険箇所の分布



※三宅村の急傾斜地及び地すべり危険箇所は、平成12年の噴火災害発生のため未調査。土石流危険渓流は、噴火以前の調査結果と現況調整のため未掲載。

土砂災害危険箇所は都内全域に分布

# 土砂災害対策【ハード対策】

土石流を抑える砂防えん堤



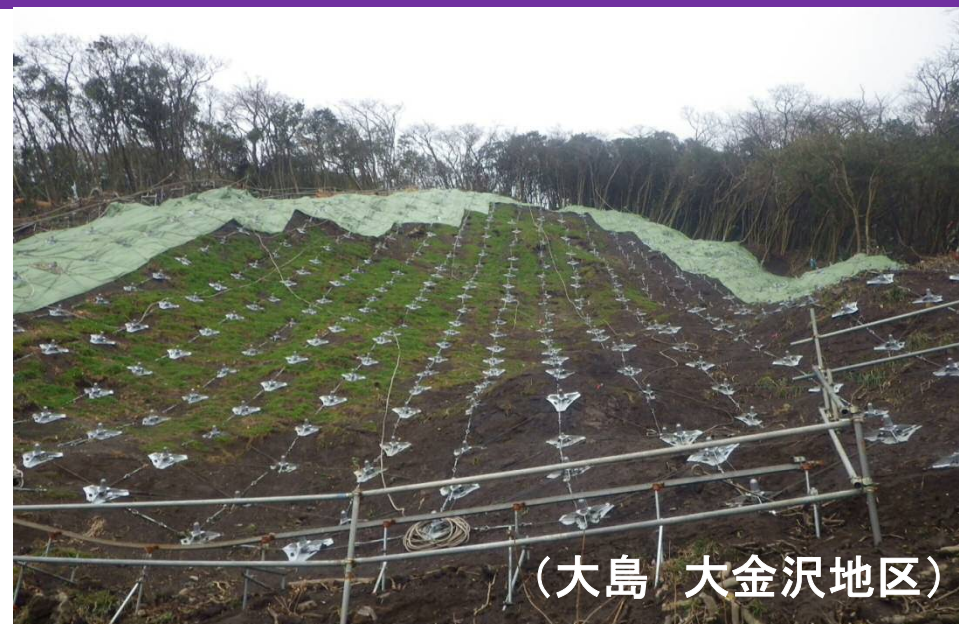
急な斜面を保全する法砕工



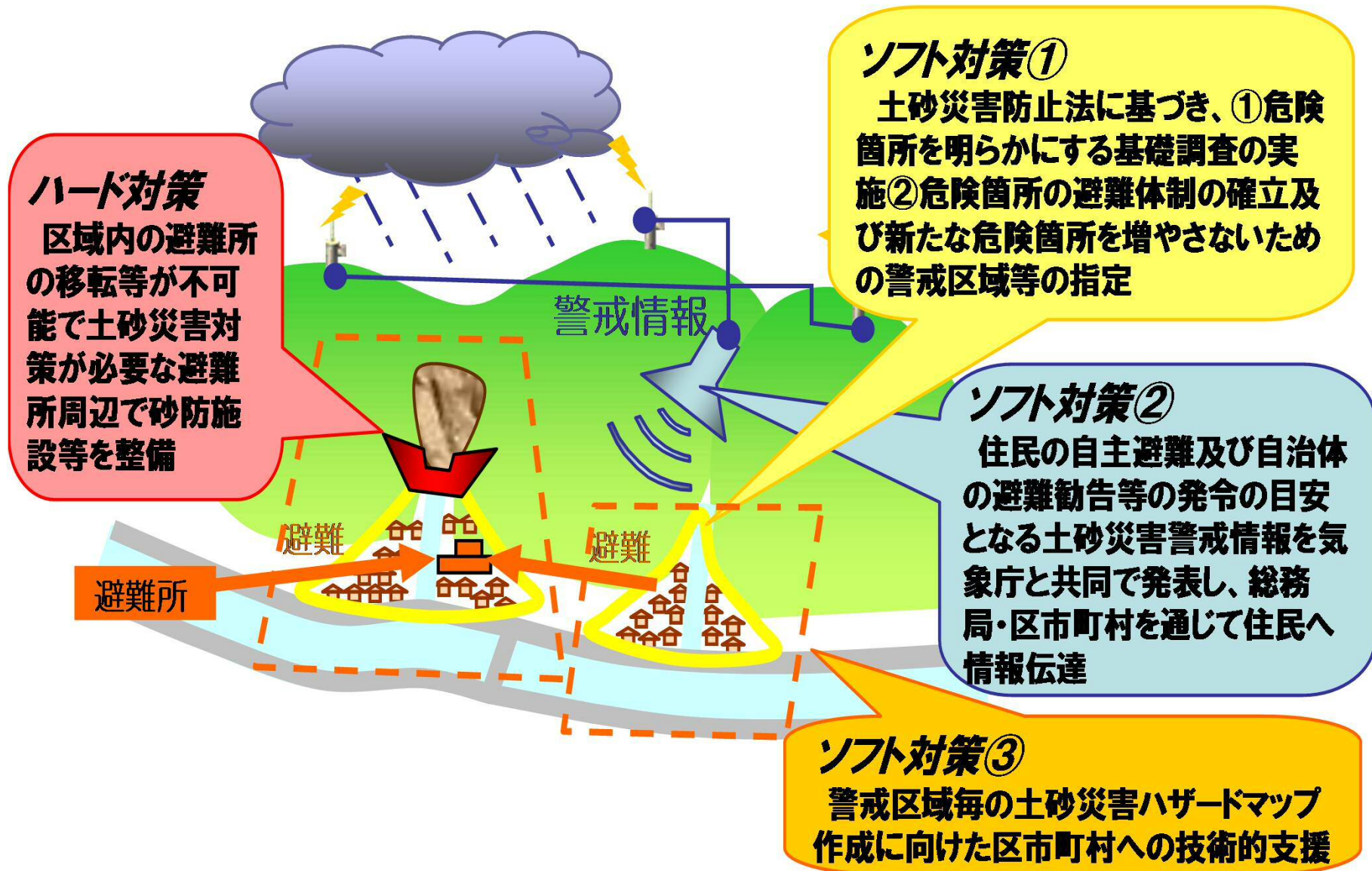
土石流の流れる方向を制御する導流堤



崩壊した斜面を安定した地盤とする山腹工



# 土砂災害対策【ソフト対策とハード対策の連携】



ハード対策を着実に進めるとともに、警戒避難体制の確立に必要な土砂災害警戒区域等の指定などのソフト対策の推進が必要

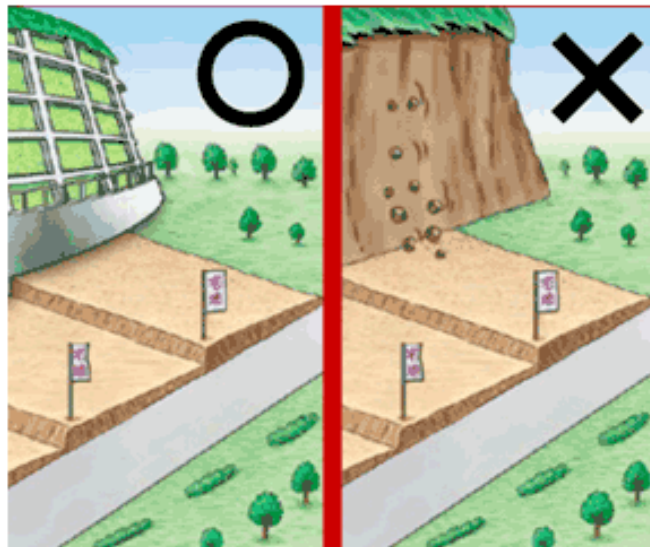
# 土砂災害対策【土砂災害警戒区域、特別警戒区域の指定】

## ◆警戒区域では



警戒避難体制の整備

## ◆特別警戒区域ではさらに



特定の開発許可に対する許可制



建築物の構造規制

平成26年の土砂災害防止法の改正を受け、基礎調査・区域指定を前倒して実施

## **土砂災害警戒区域**

H29.3月末現在 10,676箇所指定済

## **土砂災害特別警戒区域**

H29.3月末現在 8,123箇所指定済

平成31年度までに指定完了予定(約15,000箇所)